

第10回生物小委員会における委員意見及び対応（案）

No.	資料	委員意見	対応（案）
1	3 全般	【岡田】よくまとまってはいるが、原因・要因について「どうなのか？」という結論がない。	引き続き原因・要因について考察を行い、明確化を図る努力をする。
2	3-1	【滝川】A1海域は覆砂が行われている。記載されている場所の底質が自然の特性なのか、人為的なものなのか、区別して記載すべき。	覆砂域に関する情報を記載する。
3	3-1	【滝川】図7（HSI）について、出典を明らかにすべき。	水産庁の報告書が出典（平成25年度各地域の特性に応じた有明海の漁場環境改善実証事業報告書）である。 HSI算出の基礎となる粒径分布の調査結果データが確認できなかったため、図7（HSI）の記載は削除する。引き続き評価に使用できる調査結果等の収集に努める。
4	3-1	【岡田】ナルトビエイに関する記載は、どの海域の記載に何回も出てくるが、二枚貝類減少の要因の結論とするのは無理がある。	ナルトビエイについて記載されている部分に、生物小委資料3-5 P.2 図2（今回資料3-8 P.2 図3）に基づき、「なお、食害の割合は●割程度であるという試算もある」と明記するなどについて検討する。
5	3-1	【佐々木】特にA7海域などは、しけ、台風の影響を大きく受ける。「気象」を要因の一つに加えるよう要望する。	評価に使用できる調査結果等があれば情報提供願いたい。

No.	資料	委員意見	対応（案）
6	3-2	<p>【速水】冒頭、タイラギの減少について記載されているが、フォローするデータを付けるべき。</p> <p>“2000年以降、着底稚貝は認められる”という部分についても同様。</p>	ご意見を踏まえ、補足する図表を追加する。
7	3-2	<p>【滝川】P.3 「底質とタイラギ分布の間には一定の関係が認められる」とあるが、具体的に記載するべき。</p>	「底質とタイラギ分布の間には一定の関係が認められる」を「底質とタイラギ分布の関係について、以下のデータがある。」に修正する。
8	3-2	<p>【岡田】P.5 「浮泥の堆積量とタイラギ生息密度の間には一定の関係が認められる。浮泥の堆積は・・・」の記載箇所について、根拠に問題がある。有意な範囲で変化しているかどうか検証しないと、最後の結論に影響する。</p>	No.7と同様。
9	3-4	<p>【速水】二枚貝の“成長”の面で、餌料の長期変動の話は入れないのか。</p>	<p>対外的に説明できる根拠データがあれば、報告書に盛り込むことを検討したい。</p> <p>評価に使用できる調査結果等があれば情報提供願いたい。</p>